



2023年2月

JA 尾道総合病院 病院長：田妻 進
副院長・がんセンターボード運営会議長：花田 敬士
診療情報管理科 がん登録室

今回のテーマは **肝臓がん** です。

【“肝臓がん” における 院内がん登録ルール】

◆ 局在コード

肝の局在コードは、肝臓実質を表す C22.0 (肝, NOS) と

肝内胆管を表す C22.1 (肝内胆管) のいずれかのコードが用いられます。

* 肝門部腫瘍である Klatskin 腫瘍は原則として、《肝》ではなく、《肝外胆管》の扱いとなります。

* 院内がん登録では、肝細胞癌と胆管細胞癌の **混合癌** は、肝内胆管癌と同様の病期分類となるため、局在コードは「C22.1」とします。

◆ 形態コード (病理組織型)

◇ 肝細胞癌 Hepatocellular carcinoma (liver cell carcinoma) 8170/3_

◇ 肝内胆管癌 Intrahepatic cholangiocarcinoma 8160/3_
(胆管細胞癌 cholangiocellular carcinoma)

* ICD-O-3 において、肝細胞癌は「8170/3」、肝内胆管癌(胆管細胞癌)は「8160/3」は、病理組織診や細胞診が行われなくても、画像診断等からこれらの形態コードを採用して良いことになっています。

C22.0《肝》と C22.1《管内胆管》では、異なる病期分類となります。

今回は **C22.0《肝》** について述べていきます。

◆ C22.0《肝》の T 分類 (UICC TNM 分類 第8版 と 取扱い規約の違い)

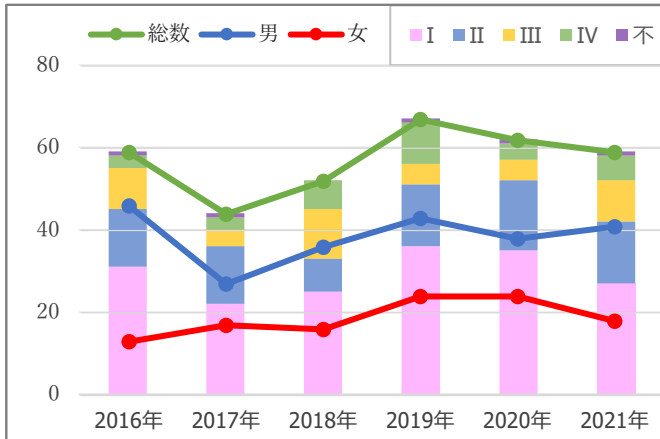
	UICC TNM 分類 (第8版)	取扱い規約
原発腫瘍評価項目	①胆嚢以外の隣接臓器直接浸潤の有無	①門脈への侵襲 (Vp0-Vp4)
	②臓側腹膜の貫通の有無	②肝静脈への侵襲 (Vv0-Vv3)
	③門脈への侵襲 (Vp0-Vp4)	③肝内胆管への侵襲 (B0 - B4)
	④肝静脈への侵襲 (Vv0-Vv3)	④個数 (単発 or 多発)
	⑤個数 (単発 or 多発)	⑤腫瘍 (最大) 径
	⑥腫瘍 (最大) 径	
* 多中心性癌腫、肝内転移は「多発」と考える		

◆ C22.0《肝》の N 分類 (UICC TNM 分類 第8版 と 取扱い規約の違い)

	UICC TNM 分類 (第8版)	取扱い規約
領域リンパ節	肝門部リンパ節	#1 右噴門 #2 左噴門 #3 小彎 #7 左胃動脈 #8 総肝動脈 #9 腹腔動脈 #10 脾門 #11 脾動脈 #12 肝十二指腸靱帯 #13 膵裏面 #14 腸間膜 #15 中結腸動脈周囲 #16 大動脈周囲 #17 膵頭前部 #18 下脘 #19 横隔膜下 #20 食道裂孔 #110 下部縦隔傍食道 #111 横隔膜上
	固有肝動脈周囲リンパ節	
	門脈周囲リンパ節	
	大静脈リンパ節 ----- 大動脈周囲リンパ節 (#16)	
	下横隔リンパ節 ----- 対応番号なし	
	肝十二指腸間膜リンパ節 (#12)	

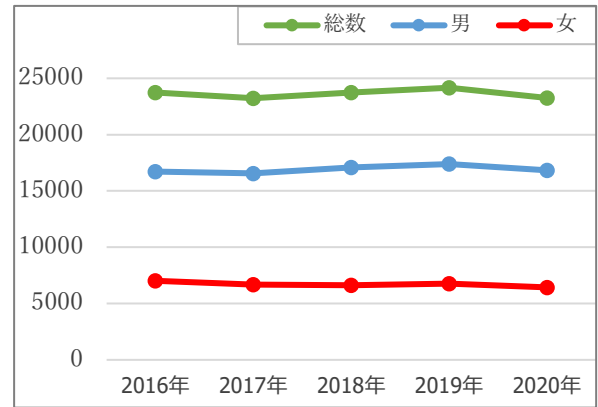
※ 院内がん登録では、肝臓癌の取扱い規約での病期分類と UICC TNM 分類との解離の大きさと その治療への影響に鑑みて、当該腫瘍の初回治療前の病期を、原発性肝癌取扱い規約に準拠して記録するための項目「【550】肝癌の病期」があります。

◆当院の肝臓がん登録件数 と ステージ別 登録件数



折れ線グラフは男女別登録件数、棒グラフはステージ別の登録件数

◆全国集計：がん診療連携拠点病院等における肝臓がんの全登録数 (男女別、都道府県推薦病院、小児がん拠点病院 6 施設、任意参加病院を除く)

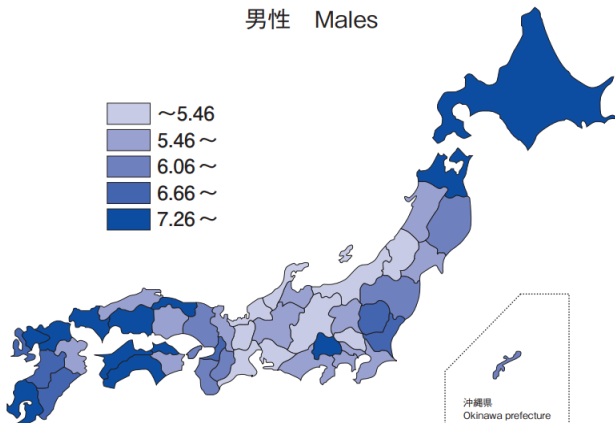


出典元：国立がん研究センターがん情報サービス(院内がん登録 2020年全国集計より一部抜粋)

2020年 当院の肝臓がん登録件数は62件です。院内がん登録全国集計より、2020年 院内がん登録対象施設(819施設)の登録件数平均が24例(中央値17例)であったことから、当院の肝臓がんの登録件数は多い方と言えます。

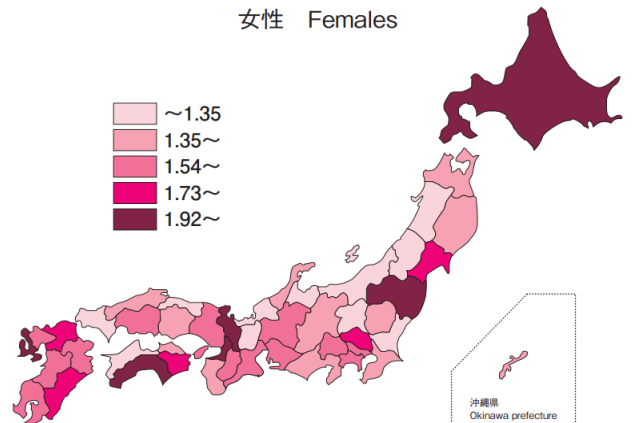
肝臓がん 75歳未満がん年齢調整死亡率

男性 Males



75歳未満がん年齢調整死亡率 (人口10万対)
Age-adjusted mortality rate under age 75 (per 100,000)

女性 Females

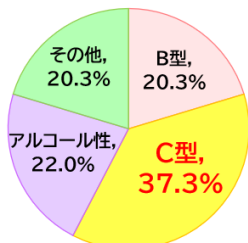


出典元：公益財団法人 がん研究復興財団 がんの統計 2022 (5.都道府県別 75歳未満がん年齢調整死亡率(2020年))

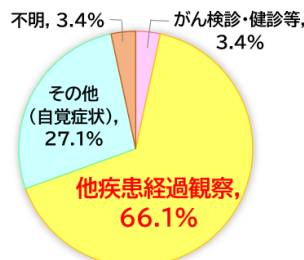
上の図は肝臓がんの「2020年 都道府県別 75歳未満がん年齢調整死亡率」です。肝臓がんは男女とも西日本で死亡率が高く、広島県も死亡率が高い県であることがわかります。これは西日本でC型肝炎ウイルスの感染者割合が高いことが関連していると言われています。

◆当院の2021年 肝臓がん

【肝臓がんの成因】

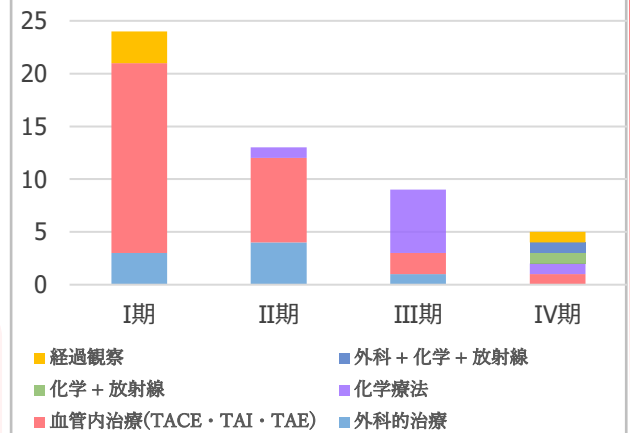


【発見経路】



・当院の2021年肝臓がん登録対象者を成因で分類してみると、C型肝炎ウイルスが一番多い結果となりました。また、発見経路別に見ると60%以上が「他疾患経過観察」からの発見であり、「がん検診」での発見は3%程度と低い結果でした。
・右のグラフは、2021年ステージ別 治療内容 です。

【ステージ別 治療内容】



次回は「肺がん」についてです。